

# DIGEST 平成28年 6月定例会の結果

議員数=22名 表決参加議員数=21名 ※議長は表決には加わりません。  
赤字=議員が提出した議案 その他=市長提出議案

〈6月3日～6月23日/会期21日間〉 6月定例会には市長提出議案17件が提出されました。また委員会提出議案1件、決議案1件、意見書案1件、請願5件、陳情1件についても審議しました。(陳情は採択しません)

## 議案第45号 平成28年度三田市一般会計補正予算について

中央公民館の市民センター化に伴う予算組替、高齢者施設整備費など9,459万3千円の増額補正を行おうとするもの。

## 議案第52号 三田市市民センター条例の一部を改正する条例の制定について

三田市中央公民館を市民センターとするにあたり、当該条例の一部を改正しようとするもの。



反対 可決に 賛成

【日本共産党三田市議団】  
長尾、長谷川、國永、中田

【市民の会】西上、美藤、檜田、坂本、家代岡  
【新政みらい・維新】多宮、佐貴、田中(一)、厚地  
【公明党】大西、平野  
【盟政会】田中(秀)、森本、福田、今北  
【無党派】北本、前中

### 議案第45号、議案第52号反対討論

公民館は社会教育法の下で、講座の開設、講習会の開催等を行うとともに、多様な学習機会の提供に努めるもの。一方、市民センターの目的は、市民の自主的、主体的な学習及び文化活動並びに市民相互の多様な交流促進を図るというように、その目的が異なる。

文化スポーツ課が司令塔となり全市民センターを通して全市民的に社会教育を推進していくとあるが、現行の市民センターの下で、それらが十分担保できるという法的保障はないので反対。

(日本共産党三田市議団 國永 紀子)

### 議案第45号、議案第52号賛成討論

近年の公民館に対しては、社会情勢や利用者のニーズも変化する中で、地域住民全体が気軽に集い、学び、交流し合えるなどのサービスを総合的に提供する拠点としての機能を果たすことが期待されている。

また、社会教育の担い手も、民間事業者等を含め非常に多様化している。そうした意味で、中央公民館を市民センター化しようとする本議案は、公民館の今後の方向性の推進にかなった提案であると考え。所管課が事務を引き継ぎ、事業を継続し実施するための根拠は担保されているので賛成。(新政みらい・維新 田中 一良)

## 全議員が賛成した議案等(承認、可決、同意、採択)

**報告** 専決処分事項の報告及びこれの承認を求めることについて(三田市市税条例等の一部を改正する条例の制定) など3件

**条例** 三田市議会議員及び三田市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例の制定 など8件

**その他** 市道路線の認定について  
三田市議会議政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例  
総合戦略特別委員会の調査事項に関する決議 など3件  
人事案件3件 意見書案1件 請願1件

議案内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。

## 請願第16号 後期高齢者医療制度の保険料の軽減特例の維持、継続と、保険料の引き下げを求める請願書

後期高齢者医療保険料の軽減特例措置を維持、継続するとともに国の公費負担率の引き上げ、財政安定化基金の活用などで保険料の引き下げを求める請願

反対 採択に 賛成

【市民の会】西上、美藤、檜田、坂本、家代岡  
【新政みらい・維新】多宮、佐貴、田中(一)、厚地  
【公明党】大西、平野  
【盟政会】田中(秀)、森本、福田、今北  
【無党派】北本、前中

【日本共産党三田市議団】  
長尾、長谷川、國永、中田



### 請願第16号反対討論

保険料の軽減特例措置の維持、継続や国の公費負担率の引き下げについては、既に兵庫県後期高齢者医療広域連合や全国後期高齢者医療広域連合協議会から、国に対して要望活動が行われており、今後も、必要な要望等を行っていくべきである。

また、保険料の改定については、後期高齢者医療制度を維持、継続していくためには、適切な個人負担が必要であり、状況の変化等に対応した検討が慎重に行われるべきものであることから、保険料の引き下げについては反対。(市民の会 家代岡 桂子)

### 請願第16号賛成討論

兵庫県広域連合の被保険者約69万人のうち、「保険料軽減措置」の対象者は9割軽減、8・5割軽減の対象者、後期高齢者になるまで扶養者だった方などをいれると約36万人で、実に52%の方たちが特例措置を受けている。

そのため、兵庫県広域連合において連合会会長名で、全国後期高齢者広域連合協議会も国に対し、国の負担による現行の特例措置を維持、継続されたいと要望されている。

また近隣市でも維持、継続を求める請願が採択されており三田市議会としても採択すべきであり賛成。

(日本共産党三田市議団 國永 紀子)

## 請願第17号 消費税10%増税の中止を求める意見書提出を求める請願書

## 請願第18号 国に対し「消費税増税の中止を求める意見書」の提出を求める請願書

## 請願第20号 消費税10%への増税の中止を求める請願書

「消費税を10%にしない」意見書を政府に提出することを求める請願

反対 採択に 賛成

【市民の会】西上、美藤、檜田、坂本、家代岡  
【新政みらい・維新】多宮、佐貴、田中(一)、厚地  
【公明党】大西、平野  
【盟政会】田中(秀)、森本、福田、今北  
【無党派】北本、前中

【日本共産党三田市議団】  
長尾、長谷川、國永、中田



### 請願第17号、18号、20号反対討論

消費税については、国の基幹税として定着している。国の財政の再建、社会保障制度の維持、地方分権のための安定財源などの観点から、消費税への期待は大変大きいと考える。

我が国の将来における社会保障の充実をはじめ、誰もが安心して暮らせる社会の実現などを考えると、消費税10%増税が延期されたが、今後も増えていく社会保障費を国民全体で支えることができる仕組みとして、消費税は大変重要な制度であるので反対。

(市民の会 家代岡 桂子)

### 請願第17号、18号、20号賛成討論

市民の暮らしの実態は、年金は下がる一方、物価や医療、介護の負担は増える。若い人も正規の仕事がなく、派遣を余儀なくされている。8%の税率でも大変という声が返ってくる中、2年半増税を延期したところで国民の暮らしが良くなる保障はない。

消費税10%増税をきっぱり中止し、税金は、大企業や、アベノミクスで最大の恩恵を被っている富裕層に、応分の負担を求める税制改革を実行し、暮らしを支える財源、社会保障の充実の財源をつくるべきであるので賛成。(日本共産党三田市議団 國永 紀子)